

授業科目	疾病論V (運動器・感覚器)	単位数	1 単位	講師名	医 師
		時間数	30 時間		
学年	1 学年		履修期	後期	
授業の目標	1. 各臓器に現れる病変の特徴や治療・検査を理解する。 2. 主疾患が他の臓器へ影響をおよぼす影響について総合的に理解する。				
授業内容 (授業計画)	(10 時間)		(7 時間)		
	1. 骨折・脱臼・捻挫 2. 骨粗鬆症 3. 腫瘍 (骨肉腫) 4. 変形性関節症 5. 腰痛症 (椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症) 6. 炎症性疾患 (骨・骨髄炎・関節炎) 7. 脊椎損傷・末梢神経損傷 8. 関節リウマチ ★テキスト 1 使用		1. 外耳・中耳・内耳の構造 2. 聴覚と聴力 3. 平衡器官の構造と平衡覚 4. 嗅覚受容体と嗅覚 5. 聴覚・平衡覚の障害 (難聴・メニエール病) 6. 嗅覚・味覚の障害 7. アレルギー性鼻炎 ★テキスト 2 使用		
	(6 時間)		(7 時間)		
	1. 眼球と眼球付属器の構造 2. 視力と視野 3. 色覚・明暗覚 4. 視覚の伝道路 5. 眼球運動 6. 眼球に関する反射 7. 視覚障害 (白内障・緑内障・網膜剥離・網膜症) ★テキスト 3 使用		1. 皮膚、粘膜の構造と防御機構・体性感覚 (皮膚の感覚受容器・皮膚感覚の種類) 2. 皮膚の障害 (湿疹・アトピー性皮膚炎・帯状疱疹・疥癬・蜂窩織炎) 3. 蕁麻疹 4. 接触性皮膚炎 ★テキスト 4 使用		
評価方法	筆記試験				
注意事項	特記なし				
教科書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [10] 運動器 (医学書院) 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [14] 耳鼻咽喉 (医学書院) 3. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [13] 眼 (医学書院) 4. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [12] 皮膚 (医学書院)				
参考図書	特記なし				